
スティグマ（人物紹介）

髪槍夜昼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ステイグマ（人物紹介）

【Nコード】

N9593Q

【作者名】

髪槍夜昼

【あらすじ】

オリジナル小説「ステイグマ」の人物紹介です。

本編のキャラの容姿や聖痕を載せていきます。

このキャラ誰だっけ?となった時にでも見て下さい。

神無棺（前書き）

キャラが多くなってきたので、整理する為に人物紹介を作りました。

神無棺

カクナヒツギ
神無棺

イメージカラーは「赤」

マイフェイバリットカラーも「赤」

主人公的ポジション。

一人称は「オレ」

年齢は十七歳。

身長は男子の平均より少し高い程度。

赤い髪に赤い瞳をしている為に不良に見える。

髪と目は天然だが、赤色が好きなのも事実であり、私服やバイクも

真っ赤に染めている。

不良とよく言われるが、飲酒喫煙をしたことは無く、子供好き。

好物はクラッカー。

理由は不明だが、女が苦手で、触れるだけで身体がガタガタと震える。

レイヴに対しては女扱いしていない為に触れても何とも無い。

レイヴの影響か、他人に流され易いが、基本的には優しい性格。

それ故に、他人のどんな意見を頭ごなしに否定することは無い。

神無棺と言う名前は孤児院で付けられ、十歳以前の記憶を無くしている為、本名は不明。

聖痕は「モノを無重力状態にする」ことのようなのだが、詳しい詳細は本人も理解していない。

自身の記憶、聖痕など、自分のことになると無関心。

また、どんなに一般人に溶け込んだうとしても、一般人達と自分の違いを自覚してしまう聖痕使いでありながら、周囲に溶け込み過ぎている異質な面がある。

その為、十歳から聖痕が目覚めていたにも関わらず、隙間の神と接

触するのが遅れた。

流されやすく、人が良いので、衣や色雨に協力しているが、心の底では聖痕には関わりたくないと思っている。

江枕衣

エマクラ ヨロモ
江枕衣

ヒロイン的ポジション。

一人称は「私」

口調は誰に対しても敬語であり、丁寧。
年齢は十七歳。

身長はかなり低めで私服だと中学生でも通る程。

栗色のふわつとした柔らかそうな髪と穏やかな目をしていて大人し
そうな印象を受ける。

しかし、実際は結構激情家で喜怒哀楽が激しい。

聖痕を秘匿する組織、隙間の神の一人だが、まだ見習い隊士。

聖痕は「観念動力^{サイコキネシス}」で、縄や鞭などの比較的イメージがしやすい思
念を物質化することが出来る。

本来、観念動力は手の届かない場所にある物を動かす力であり、そ
の為にわざわざ思念を物質化する必要は無い。しかし、衣は聖痕に
恐怖心を抱いてしまっている為にこの工程でしか力を使うことが出
来ない。

ランチャータイプの聖痕装置「ガブリエル」も所持している。

風夏櫛

カザナツクシ
風夏櫛

髪の短い、ボーイッシュな少女。

棺の幼なじみであり、同じ孤児院出身。

棺曰く、かなりのブラコンらしいが、本人は「お兄ちゃん子」なだけと否定している。

目立つ容姿の為に友達が出来ない棺を幼なじみとして心配している。しかし、衣に言われたような恋愛感情は皆無。

棺と同じ学校に通っているが、違うクラスの為に、棺とあまり学校で会うことは無い。

棺とは長い付き合いだが、棺が話さなかった為に聖痕のことは一切知らない。

江枕色雨

エマクラ
シキウ
江枕色雨

男にしては長めのストレートの髪をした男。

歳は二十代前半くらい。

穏やかな顔をしていて、棺曰く「毒気が抜ける顔」をしている。

少々過保護な程に妹の衣を大切に思っており、衣にはシスコン呼ばわりされているが、否定していない。

両親を失った衣を養子に引き取っている為に、実は義兄では無く、
義父。

年齢的に違和感がある為に衣は「兄さん」と呼び、兄として紹介している。

かつては熱く、正義感に満ち溢れていたが、ある事件以降、多くの他人よりも、大切な者を優先するようになり、かつて程、隙間の神の仕事に意欲的にならなくなった。

それを元弟子である炬深は「腑抜けた」と常々嘆いている。

隙間の神として所属している部隊は「アルヒヤイ権天使」だが、本気を出せば「スローンズ座天使」程の力を持っているらしい。

それでも、町を離れることになるので、出世する気はゼロ。

ステッキのような形状の銃タイプの聖痕装置「ウリエル」を使う。

繰上炬深

クルジョウ キョミ
繰上炬深

清楚な雰囲気を持ち、読書が似合いそうだが、中身は意外とそうでも無い。

歳は棺達より四、五歳上で色雨よりは下。

かつて師弟関係だった色雨を尊敬しており、今も出来るだけ接点を持つと努力している。

現在は一般隊士からケルビム智天使になり、色雨の上司になっている。

色雨が他人行儀で敬語を使うのが嫌いで、使うと不機嫌になる。

同じ本部で働けるように出世を願っているが、本人が町を離れる気が無い為に拒否された。

色雨の守りたい、大切な者の内の一人だが、本人は衣だけだと思っている。

レイヴ・ロウンワード

レイヴ・ロウンワード (RAVE LOANWORD)

銀髪に碧色の目をした異国の少女。

一人称は「私」

語尾に「〜である」を付けるのが口癖。

棺のクラスメートで、一年前からの付き合い。

男子の制服と女子の制服をどちらも持つており、よく男装する。

本人曰く、男子でも女子でも大丈夫らしい。

よくどこまでが真実か悩む嘘をつき、胡散臭い。

日本語は話せるが、漢字が苦手で勉強も苦手。

個性的過ぎるキャラの為に棺達以外に仲の良いクラスメートがいな
い。

ふざけて抱き着いたりもするが、棺に対する恋愛感情は微妙。

棺も家に行ったことが無かったり、どの国出身なのかを明かさな
ったり、割と謎が多い。

軽根間人

カルネ マヒト
軽根間人

車椅子に乗っているが、やたらと明るく、アグレッシブな男。

色雨の知人で、昔、衣もあつたことがある。

正規の隙間の神では無く、協力者として、自分の正義感にのみ従い、人を助けていたが、ある時、返り討ちに遭い、その後遺症で下半身が動かなくなつた。

「正義の味方」のようになるとを目指していたが、返り討ちにあつた敗北感と無力感から絶望してしまっている。
聖痕使いだつたが、現在は使うことが出来ない。

最後に助けた者が「初和音実」であり、音実曰く、婚約しているらしい。

棺にロリコンの疑惑を持たれた。

初和音実

ハツラ
ネミ
初和音深

明るい性格の中学生くらいの少女。

思い込みが激しく、人の話を最後まで聞かない為に、よく暴走する。
軽根間人の婚約者。

聖痕使いでは無い一般人だが、違法聖痕使いと関わったことがあり、
軽根間人はその事件で大怪我を負い、下半身が動かなくなってしまう。
った。

そのことに負い目を感じており、間人から「正義の味方」と言う夢
を奪ったと思っている。

純粹な好意とその償いの為に、積極的に間人の世話を焼きたがる。

オーミー・氷咲

オーミー・氷咲^{ヒザキ}

濡れたレインコートに青い傘を持ったハーフの男。

歳は棺と同じくらい。

名前が芸人みたいなことを気にしている。

一人称は「ボク」で、所々カタコトになるが基本的には丁寧に話す。

聖痕は「ウィルオウイスラ怪火」

青白い人魂を生み出し、それを見た者の体感時間を延長させることが出来る。

本質は「魅了させ、見る者に時間を忘れさせること」

どちらかと言えば、魔法より催眠術に近い。

性質上、生物にしか使えない欠点がある。

聖痕使いだと明かし、拒絶された過去を持ち、孤独を恐れている為、所属している組織のボスの命令には必ず成し遂げようとする。

自分の力を魔法と呼び、誇るように他人に言うのはその反動から。

様土皆代

サマツチ ミナヨ
様土皆代

どこかの国の軍服を学ラン風に改造したような服を着た少女。

歳は二十前後。

軍人のようにきびきびとした動きをしており、口調も語尾に「〜」
「あります」と付ける。

アルヒランゲロイ
大天使に所属しており、凶悪な違法聖痕使いが収容されている収容
所の管理を任せられている。

滅多に収容所以外で仕事をしない為に、隙間の神の内情にも疎く、
天之原天土の名前も知らなかった。

護送した際に顔を合わせる程度だが、色雨とも面識がある。

天之原天士

アマノハラ ソラン
天之原天士

長い髪に、男か女か迷う中性的な容姿をしており、性別は不明。年齢も不明だが、若々しい容姿をしている。

たまに語尾に「〜かね」と付ける奇妙な口調で喋る。

数年前に推薦によって隙間の神に入ると同時になった異例中の異例である現在の熾天使^{セニラフ}。

性格は気さくで、お世辞や社交辞令が大嫌いであり、アットホームをモットーとしている。

本部と支部の差や本部から何度も出ている反逆者の存在について、隙間の神の現状に嫌気がさしている。

隙間の神を所詮は金銭で集まった組織として、正義感で戦っている人間が少ないと考えている。

普段は「管理室」と言う部屋に閉じこもって仕事をしている。

逸谷不戒

イッタニ・フカイ
逸谷不戒

殺人犯として報道されたら、十人中十人に意外に思われそうな、外見は平凡な男。

時々語尾を伸ばす、常に軽いテンションの口調をしている。

隙間の神に対立する違法聖痕使いの組織「反逆者」に所属している。

「暴君」の「右腕」と言う、組織の中でも重要な地位に着いている。

人格に問題がある違法聖痕使いをボスの代わりに纏めている為に苦勞している。

性犯罪を嫌っている。

一見まともだが、精神が不安定で、精神安定剤を常に持ち歩いている。

殺意を持たずにさつきまで会話していた人間を当たり前のように殺せる殺人鬼だが、人殺しが好きな訳では無い為に必要以上の殺人は犯さない。

ボスを「麻薬」に例え、自分達はボスに忠誠や信頼では無く、崇拜、依存していると語る。

それ故に使い潰されると分かっているにも、ボスの近くにいたいと思っっている。

逸谷自身は「狂気」を忘れる為に依存している。

聖痕は「薬剤耐性」
ドラッグ・レジスタンス

人間の皮膚に直接触れることで病原菌を感染させることが出来る。

感染した者は合図をすることで発症し、喉を塞ぎ、窒息死する。

また、感染した人間に触れた人間にも伝染する。

本質は「伝染すること」

落河揺祇

落河揺祇（ラクガワ ユラギ）

手帳とシャーペンを持った記者風の女。

歳は十八だが、留年している為に高校二年生。

一人称は「筆者」であり、作家を自称するが作品を他人に見せたことがない為、評価は不明。

一般人に聖痕を使う罪悪感から、鬱病になっていた時期もあり、精神的に脆く、ナイーブな性格。

秘匿に特化した聖痕使いが集まる部隊「ドミニオンズ主天使」に所属する記憶操作の聖痕使い。

記憶の操作にかけては暗示や消去とは違い、偽造するタイプの聖痕使いの為、一般的な「ドミニオンズ主天使」よりも優れているスペシャリスト。しかし、逆に言えば、戦闘などには向かず、それしか道を選べない聖痕。

違法聖痕使いと戦う為に隙間の神に入ったが、聖痕を使う相手は一般人ばかりと言うことに苦悩し、罪悪感に苛まれていた。

現在は棺の言葉で少し考えを改めた。

聖痕は「フォールス・メモリー虚偽記憶」

記憶を初期化するのでは無く、上書きする聖痕。

偽の記憶を考え、それを他人に自身の記憶と信じ込ませることが出来る、秘匿に特化した強力な聖痕。

御開言伝

ミカイ コトツテ
御開言伝

黒髪に混じった白髪が目立つ初老の男。

しかし、弱々しさは無く、生気が溢れている。

新興宗教「神の導き」の教主であり、布教を続けている宗教家。

「人間は全て、神の傀儡であるべき」と考えているなど、極端な程に神を神聖視している。

「世界布教」を理想として布教を続けている。

教えを書いた本を配るなど地道な布教活動もするが、それでも入信しない者には聖痕を使って、洗脳しようとするなど狂信的。

強引な手段を取っている自覚はあり、それでもその手法を取るのには、自分の行いが結果的に平和を作ると信じているからであり、私利私欲を目的としている訳では無い。

聖痕は「サイコトロンクス精神工学」

「テレパシー意志送信」系の聖痕であり、その中では強力なタイプ。

他人の脳内に自分の思想や価値観を送り、他人にその思想を強制する洗脳の力。

本質は「他者との共感」

桐羽由来

桐羽由来（キリバナ ユライ）

イメージカラーは「白」

灰色に近い色の黒髪、不健康な色白、左目に白い眼帯をした男。女顔な上、細身である為に女にも見える。

現実味と人間味が無く、存在していること自体に違和感を覚える。

主義を持たず、他人に力を貸すだけを存在意義としていて、自己が薄い。

善悪問わず、誰にでも力を貸す為に常人には不気味に見える。

「誰かの役に立つ為に生まれてきた人間」では無く、「誰かの役に立つことでしか生きられない人間」。

受動的にしか行動出来ない為に「便利屋」をしている違法聖痕使い。自分自身の意見を滅多に言わず、代わりに「く」なら、くと言っただろうな」などと他人を例にして意見を言うのが癖。

聖痕は「重複所在」
バイロケーション
クレアポヤンス

透視系の聖痕だが、亜種。

距離を透視する遠隔透視が変化した聖痕であり、千里眼のように遠くを見渡すことより、視点を増やすことに特化している。

本質は「違う視点でモノを見ること」

分身体は幽体化することで浮遊する、透過する、白い煙となって移動するなど、幽霊のように様々な力を持つが、衝撃には弱く、実体化している時に、何かにぶつかる程度でも消滅してしまう。

霊能力は基本的に「見えない者」に対する力なので、人間を相手にするのは苦手らしい。

端橋寧利

ハシバシ ネイリ
端橋寧利

ファッション誌のモデルのような服装に、シャンプーハットを被った女。

歳は二十代くらい。

格好いい男より、可愛い男の子の方がタイプ。

性格は子供っぽく、隠し事が出来ない。

サイコメトリ
意志受信系の聖痕を持ち、他人の秘密を暴露することを趣味にしている。

好奇心も旺盛。

語尾に「ね」と付ける癖がある。

良くも悪くも裏表が無く、正直者の為、聖痕も相俟って嫌われ者らしい。

情報収集が得意。

銘式濁里

メインキニユリ
銘式濁里

着物に草履を履いた侍のような男。

時代劇に出て来そうな格好だが、主役と言うよりは、敵側の用心棒のような雰囲気のある男。

手に持った日本刀のような聖痕装置（銘は「鬼丸」）がよく似合う男。

甘酒が好物であり、いつも甘酒の入った酒ビンを手にして、飲んでいる。

その為、常に甘ったるい香りを纏っている。

性格は冷静で悲観的だが、本質は諦めの悪い努力家。

両親は違法聖痕使いに殺されており、隙間の神に引き取られた。それほど珍しいことでもないらしい。

かつてはより多くの人を助ける為に努力していたが、人を助ける組織と信じていた隙間の神が人助けを考えている人間が極端に少ない事実を知り、諦めた。

隙間の神の人間に危機感を感じさせる為に逆し、棺達の町へやって来た。

レイヴに周囲に翻弄されていただけで、本質は人を助けたいと願う愚直な努力家だと指摘された。

語尾に「〜さ」と付けるのが口癖。

聖痕は「湾曲通路」
ワームホール

瞬間移動では無く、空間と空間を繋げて新しい通路を作る力。

本質は「障害を避けること」

ヘーレム

ヘーレム

サファイアのような鮮やかすぎて不気味な青い髪に、銀色の瞳をした中学生くらいの少年。

十字架のネックレスを三本も首から下げている。

その外見と不相応に、口調は古風。

反逆者に最近入った新入りであり、素性は不明。

無口無表情で常に感情が無いかのように振る舞っているが、性格は残酷で他人の苦しむ様を見ると、歪んだ笑みを浮かべる。

反逆者のメンバーの割りにボスに対する執着があまり無く、協調性も無い。

残留思念を読み取る力を持っているらしい。

高涙布津花

タカナミ フツカ
高涙布津花

垂れ目が特徴的なパンダのように愛嬌のある高校生くらいの少女。どちらかと言えば大人そうな雰囲気を持つ。

棺の高校の後輩であり、不良に絡まれていた時に救ってもらったことがある。

そのことについて深く感謝しているが、棺は覚えていなかった。これといった珍しい所も、聖痕もない、根っからの一般人だが、故か聖遺物を所有していた為に騒動を引き起こす。

聖遺物は「ギユゲースの指輪」に似た、人間の姿を消し去る力を持つ指輪。

その実態は神や聖霊のような「神聖な存在に人間を変える力」を持った、聖十字架を埋め込んで作り上げた指輪。

結果的に指輪を破壊されたことで日常に戻った。

ベルフェゴール

ベルフェゴール

イメージカラーは「黒」

ラッキーカラーも「黒」

黒いポンチョのような服を来た、容姿だけ見れば十代に見える黒髪の男。

全体的に黒い雰囲気をもっているが、瞳の色だけは青い。

怠惰を推奨する悪魔「ベルフェゴール」の名を持つ。

最も有名な奇跡「癒し」の聖痕を持つ。

性格は優しく、自分を求める者には救世主のように癒しを与えるが、その意図は不明。

カフェイン中毒者であり、コーヒーが好物。

完璧主義者で「欠陥」を嫌い、いつかは死んでしまう人間を欠陥品だと思っている。

水が大の苦手でカナヅチ。

令宮祭月

レイグウ サイゲツ
令宮祭月

学者帽を被り、サングラスをかけた白髪の男。

奇妙な敬語を使い、人を呼ぶ時は苗字に「氏」や「殿」をつけて呼ぶ。

一人称は「オレ」

戦闘や秘匿よりも聖痕装置の開発が専門な第五部隊の能天使エクスシアイに所属している。

最も簡単に入れて、最も数の多い部隊な為、様々な雑用を任せられており、かなり多忙。

数々の聖痕装置を開発し、隙間の神に貢献している地味に凄い天才であり、存在自体を知らない者までいる聖遺物について詳しく知っている。

非聖痕使いで戦闘は専門外。

面倒くさがりな性格で、嫌なことはさっさと終わらせるタイプ。

レイヴ・ロウンワード2(前書き)

第三十九話までのネタバレ含みます。

レイヴ・ロウンワード2

レイヴ・ロウンワード

本来の姿は山羊のような捻れた角が生えた姿。

正式な名前は「ダーインスレイヴ」で「聖剣」と呼ばれる聖遺物だが、本人曰く、「魔剣」

赤い山羊の角のように捻れた刀身の剣が本体であり、人間としての姿や意思は聖痕によって五十年以上前に芽生えたもので、贖罪山羊スケーフゴートと言う偶像。

物言わぬ剣としては更に前から存在しており、聖遺物の欠片を使つて誰かによって作り出され、様々な人間に使われて、様々な人間を殺してきた。

それに諦めのような感情を抱き、されるがまま、流れるがままに流されて、棺達の町へと流れ着き、一人の親友に出会ったことで心を救われた。

それ以降は今のような性格になり、面白半分でクラスで浮いていた棺にちよっかいを出したりしたが、現在でもその親友のことは世界の何よりも優先する程に、大切に思っている。

聖遺物としての奇跡は「奇跡を喰らう」ことで、ありとあらゆる聖痕を無効化し、内部に蓄積し、聖痕のエネルギーを放出することが出来る。

また、奇跡を抜いた近接戦闘も訓練された力天使を複数相手に立ち回るほど。

アスモデウス

アスモデウス

飴の包み紙のような派手で可愛らしいリボンをつけた少女趣味な女。歳は十代後半から二十代前半ぐらい。

元々、間人と同じ病院で筋肉が衰える不治の病で入院して、白状な周りの人間や理不尽な世界に絶望していたが、ベルフェゴールに身体を治してもらった。

そのことに非常に感謝し、同時にベルフェゴールに好意を抱いていて「お兄様」と呼んで慕っている。

好意をベルフェゴール本人に直接伝えたり、何かと距離を縮めようとする行動はベルフェゴールを辟易させている。

瞳が青い。

サタン

サタン

背中を大きく開けた服を着た十代後半くらいの少女。

露出度の高い服を着ているが普通の服を破いたような格好で色気はない。

乱暴な口調で話し、ベルフェゴールが負けた相手に拘るなど喧嘩っ早い。

すぐに熱くなる性格でベルフェゴールにいつも喧嘩腰だが、実際の性格はかなりの心配性。

『家族』に対しては特に心配しており、自分より弱いベルフェゴールのことをいつも心配している。

赤面症で照れるとすぐに赤面してしまう。

瞳が青い

鐘神季苑

カネガミ キエン
鐘神季苑

地毛ではなさそうな金髪、口にくわえた電子タバコが特徴的な男。端正な顔立ちだが、どこか近寄りがたいマフィアのような雰囲気を持つ。

外見は二十代後半から三十代前半くらいに見えるが、実年齢はまだ二十歳。

性格は猜疑心が強く、利己主義者エゴイストで秘密主義者。

意味のある殺人は何とも思わないが、殺人そのものを楽しむ無意味な殺戮を嫌うなど、潔癖症。

隙間の神に敵対する違法聖痕使いの組織「反逆者」レベルの暴君ボス。人気カリスマがあり、多くの違法聖痕使いに心酔されている。

二年前まで隙間の神に所属していた反逆者であり、ある出来事で既に死亡したことになっている。

隙間の神に強い憎しみを抱いており、確実に滅ぼす為に二年をかけて「反逆者」を作り上げた。

白垣散瀨

シラガキ サンゼ
白垣散瀨

サンタクローズのような赤いナイトキャップを被り、アクセサリーを多数ぶら下げたマントを着た男。

深めに帽子を被っている為に顔は隠れているが、顔立ちは良い方。口癖は「〜な訳」で軽薄な口調で話す。

自称「裕福」であり、人助けに見返りは求めないが、かなり女好き。聖痕使いでそれなり以上に戦えるが、臆病者な為に、争い事を嫌い、逃げることばかり考えている。

聖痕は「ミダース・タツチ黄金掌握」

触れたモノを問答無用で黄金に変えることができる。

聖痕をオンとオフすることが出来るが、最大の強みは無意識に触れたモノさえも黄金に変えてしまうことであり、例え、本人が触れたことに気付かなくても黄金に変えることができる。

本質は『意識して触れずとも黄金に変えること』。

パイロット

パイロット

ヘッドセットをつけ、メイド服を着た少女。

服装は散瀬の趣味で本人は嫌々着ている為にいつも不機嫌そうではない。

敬語を使い、散瀬のことは「ご主人」と呼ぶが、散瀬がナンパする度に「誘拐犯」と罵るなど、毒舌家。

「パイロット」と言う名前は無論、本名ではなく、散瀬に適当につけられたあだ名である。

ぶつぶつと文句を言うが、割りと従順な性格で、散瀬から言われた指令は全てやり遂げようとするなど、生真面目な性格でもある。

ルシファー

ルシファー

高級感溢れる服装をして、立派な王冠を被った女。

「力」の強弱に拘り、絶対の強者を自称する。

その為、聖痕を持たない一般人を「出来損ない」と罵倒し、聖痕使いでも自身より弱い者は「雑魚」と見下している。

傲慢な性格だが「力に善悪はなく、強弱しかない」と信じている為に正や不正は考えずに他人を屈服させようとしているので、ただの殺戮者ではない。

数年前に棺達の町へやって来て、偶然聖痕を使う所を目撃した初和音実を襲い、その後、駆け付けた軽根間人に重症を負わせた。

そのことから、間人にとっては因縁の相手だが、本人は山ほど潰した雑魚の内の一々人として覚えていない。

聖痕は「爆発限界」イクスプロージョン

爆発を起こすのではなく、爆発が起きてもおかしくない状況を強制的に作り出すことが出来る。

状況自体が起爆剤となる聖痕であり、火薬やガソリンがなくとも、状況自体が起爆する。

元は自然発火系の聖痕だった為に人魂を生み出して、その燃焼速度を加速させる状況を作り出すと言う方法で、爆発を起こしている。

瞳が青い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9593q/>

スティグマ（人物紹介）

2011年11月2日02時05分発行